

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

2023年6月期 第2四半期決算説明資料

フィーチャ株式会社（東証グロース4052）

2023年2月14日

1. 業績ハイライト
2. 当第2四半期決算概要
3. 事業の概要及び成長戦略

Appendix

- ・四半期決算情報

本資料の数値はすべて連結ベースで記載しております。

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

1. 業績ハイライト

2. 当第2四半期決算概要

3. 事業の概要及び成長戦略

Appendix

- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

□ 前2Qが好調だったこともあり、前年同期比で減収減益

・受託開発収入 $\triangle 3.7\%$

見込んでいた新規案件の開発開始に遅れが生じ、一部3Q以降にずれの影響により、微減

・ライセンス収入 $\triangle 20.6\%$

前2Qで新規案件の一括納品があった影響により、減収

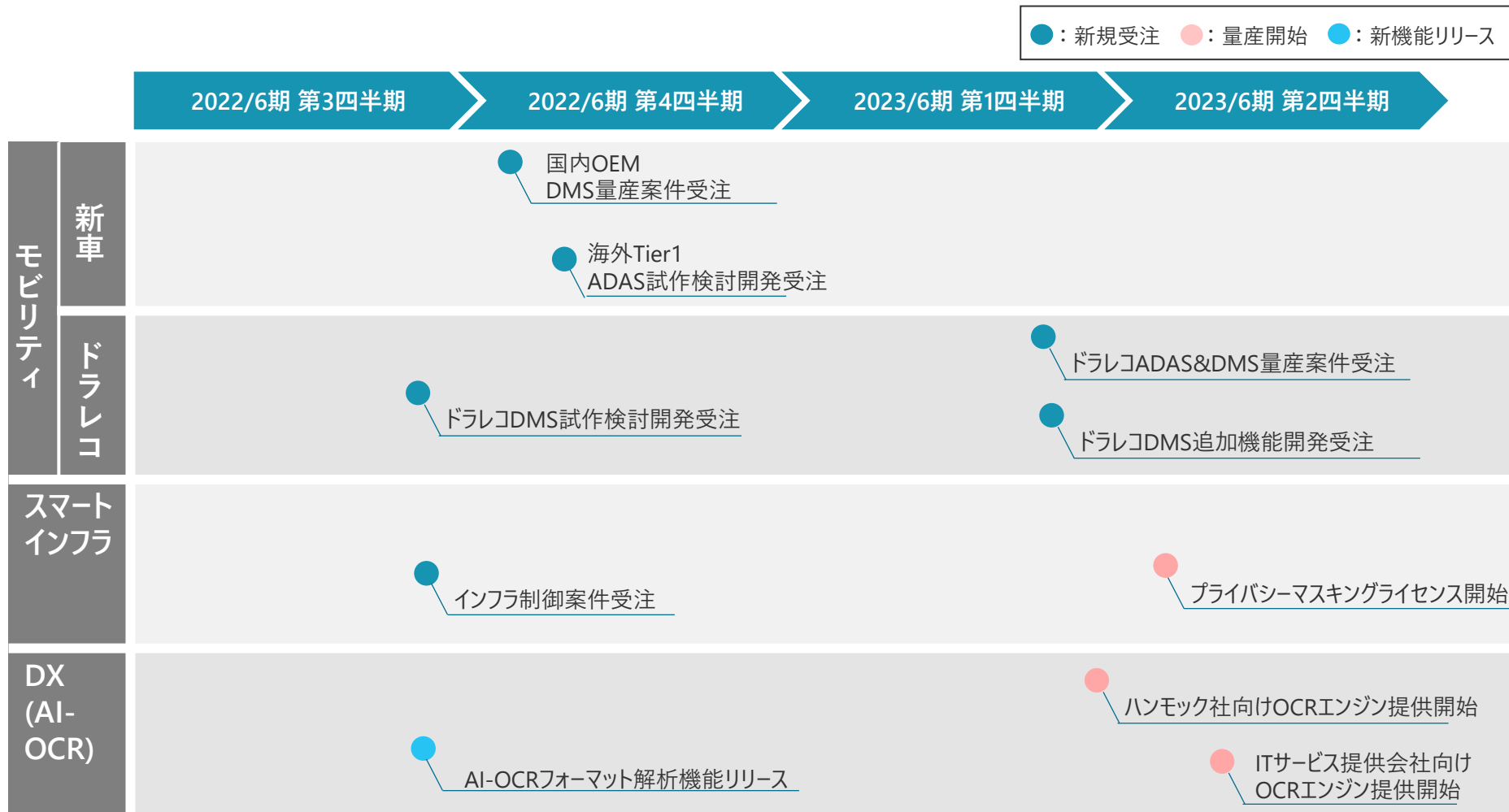
□ AI-OCRエンジンの提供先が増加

□ プライバシーマスキングライセンス開始

(単位：百万円)

	2022年6月期	2023年6月期		
	2Q実績	2Q実績	前年同期比	当期予想（通期）
売上高	185	162	$\triangle 12.5\%$	512
うち、受託開発収入	88	85	$\triangle 3.7\%$	266
うち、ライセンス収入	96	76	$\triangle 20.6\%$	245
営業利益	6	$\triangle 21$	—	81
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	5	$\triangle 20$	—	66

将来のライセンス収入につながる量産案件の受注を着実に積み上げ



主な量産案件進捗状況

量産案件を複数開発中、長期的なライセンス収入の積み上げを実現

海外案件

国内案件

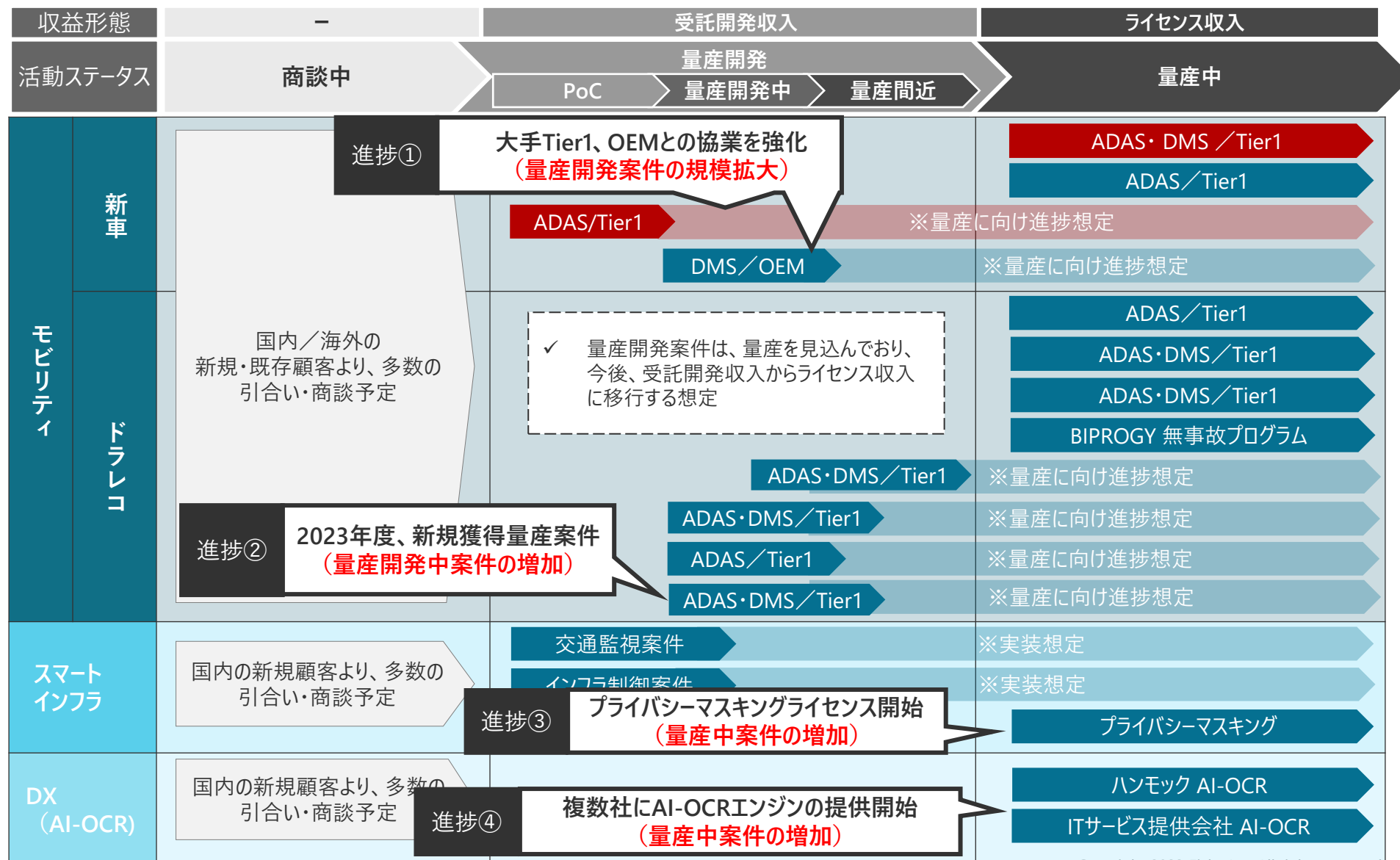
収益形態	-	受託開発収入	ライセンス収入
活動ステータス	商談中	PoC → 量産開発 → 量産開発中 → 量産間近	量産中
モビリティ	新車	<p>ADAS/Tier1 ※量産に向け進捗想定</p> <p>DMS/OEM ※量産に向け進捗想定</p>	<p>ADAS・DMS / Tier1</p> <p>ADAS / Tier1</p>
	ドラレコ	<p>国内／海外の新規・既存顧客より、多数の引合い・商談予定</p> <p>✓ 量産開発案件は、量産を見込んでおり、今後、受託開発収入からライセンス収入に移行する想定</p> <p>ADAS・DMS / Tier1 ※量産に向け進捗想定</p> <p>ADAS・DMS / Tier1 ※量産に向け進捗想定</p> <p>ADAS / Tier1 ※量産に向け進捗想定</p> <p>ADAS・DMS / Tier1 ※量産に向け進捗想定</p>	<p>ADAS / Tier1</p> <p>ADAS・DMS / Tier1</p> <p>ADAS・DMS / Tier1</p> <p>BIPROGY 無事故プログラム</p>
スマートインフラ	国内の新規顧客より、多数の引合い・商談予定	<p>交通監視案件 ※実装想定</p> <p>インフラ制御案件 ※実装想定</p>	<p>プライバシーマスキング</p>
DX (AI-OCR)	国内の新規顧客より、多数の引合い・商談予定		<p>ハンモック AI-OCR</p> <p>ITサービス提供会社 AI-OCR</p>

主な量産案件進捗状況（前回からの差分）

量産案件を複数開発中、長期的なライセンス収入の積み上げを実現

海外案件

国内案件



1. 業績ハイライト
2. 当第2四半期決算概要
3. 事業の概要及び成長戦略

Appendix

- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

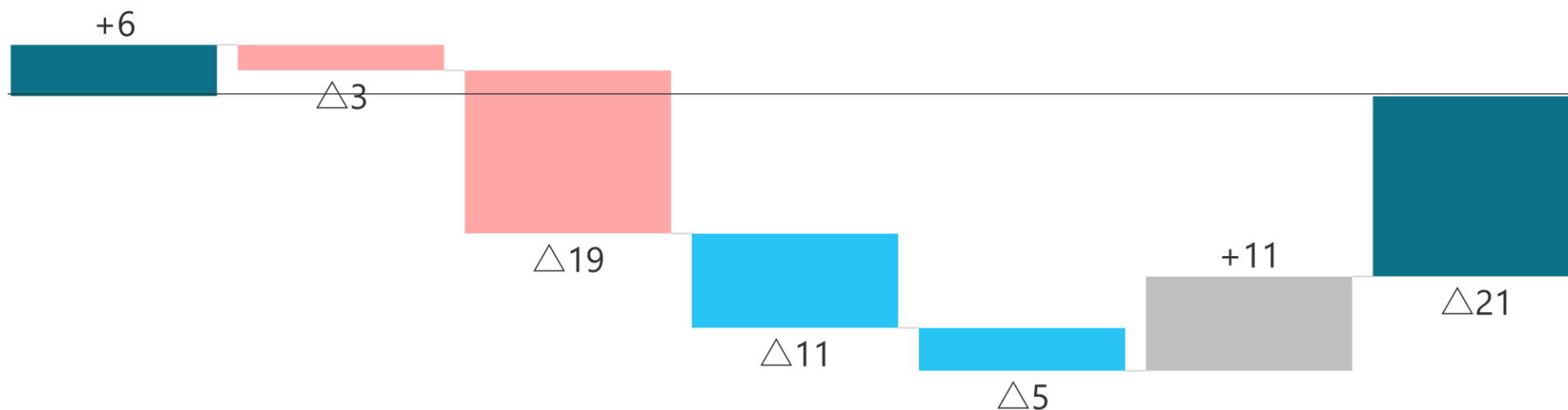
前期にて新規ライセンス製品の一括納品があったため、前年同期比で減収減益

(単位：百万円)

	2022年6月期	2023年6月期			
	2Q実績	2Q実績	前年同期比	通期予想	進捗率
売上高	185	162	△12.5%	512	31.6%
うち、受託開発収入	88	85	△3.7%	266	32.1%
うち、ライセンス収入	96	76	△20.6%	245	31.2%
売上原価、販管費	179	183	+12.4%	431	42.5%
うち、人件費	112	124	+9.1%	282	43.9%
うち、経費	61	66	+6.3%	148	44.6%
うち、仕掛品振替	5	△6	—	0	—
営業利益	6	△21	—	81	—
経常利益	6	△24	—	81	—
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	5	△20	—	66	—

ライセンス収入の減少により、営業赤字

(単位：百万円)



2022年6月期
2Q営業利益

受託開発収入
の減少
大幅な増減なし

ライセンス収入
の減少
前期ドラレコ一括納品の
反動減

人件費の増加
昇給及び人員増

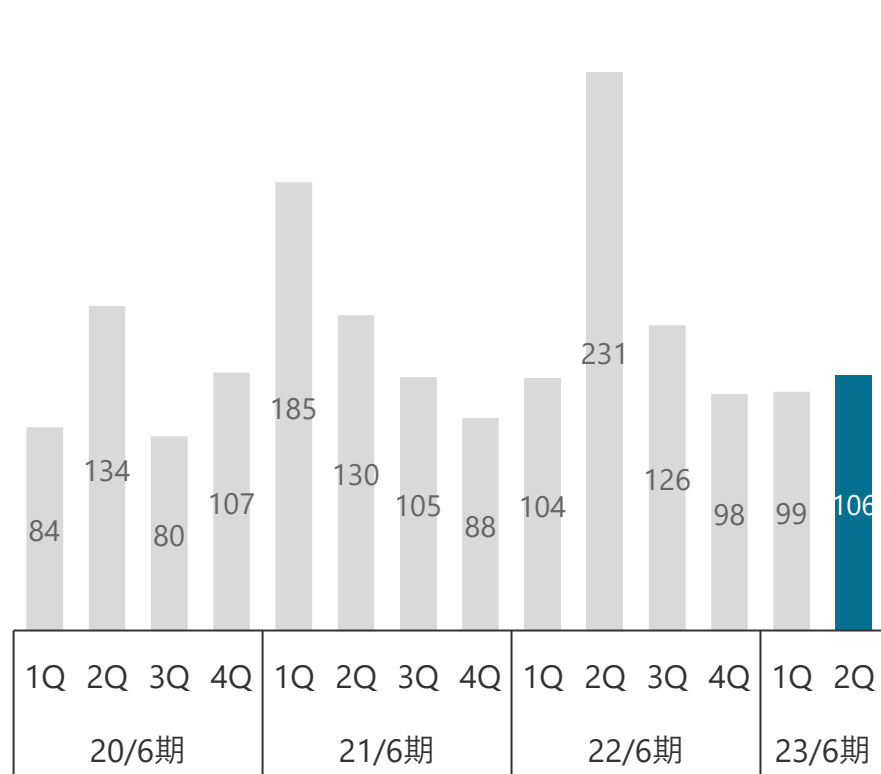
経費の増加
大幅な増減なし

仕掛品振替
前期案件との納期の違い

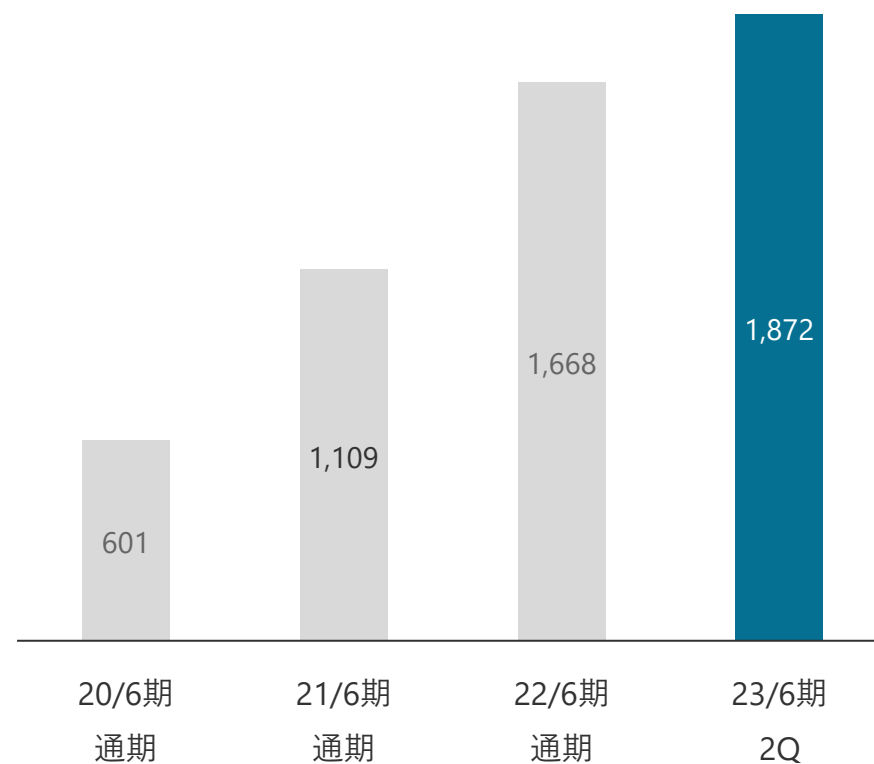
2023年6月期
2Q営業利益

ドライブレコーダーの販売が堅調に推移（前2Qは新規案件の一括納品で一時増）

四半期別量産台数（千台）



累計量産台数（千台）



1. 業績ハイライト
2. 当第2四半期決算概要
3. 事業の概要及び成長戦略

Appendix

- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

モビリティ事業を主軸に、スマートインフラ事業やDX事業まで幅広く展開

モビリティ事業（主軸事業）

安全運転・自動運転の推進拡大による
量産案件の増加。ライセンス収入の安定化。

主製品：
車載カメラ及びドライブレコ用
先進運転支援システム(ADAS)
ドライバー監視システム(DMS)



スマートインフラ事業（応用事業）

ADAS技術の応用が可能。
スマートシティの実現に向けた
インフラに関する様々なニーズあり。

主製品：
交通監視ソフト、インフラ制御ソフト

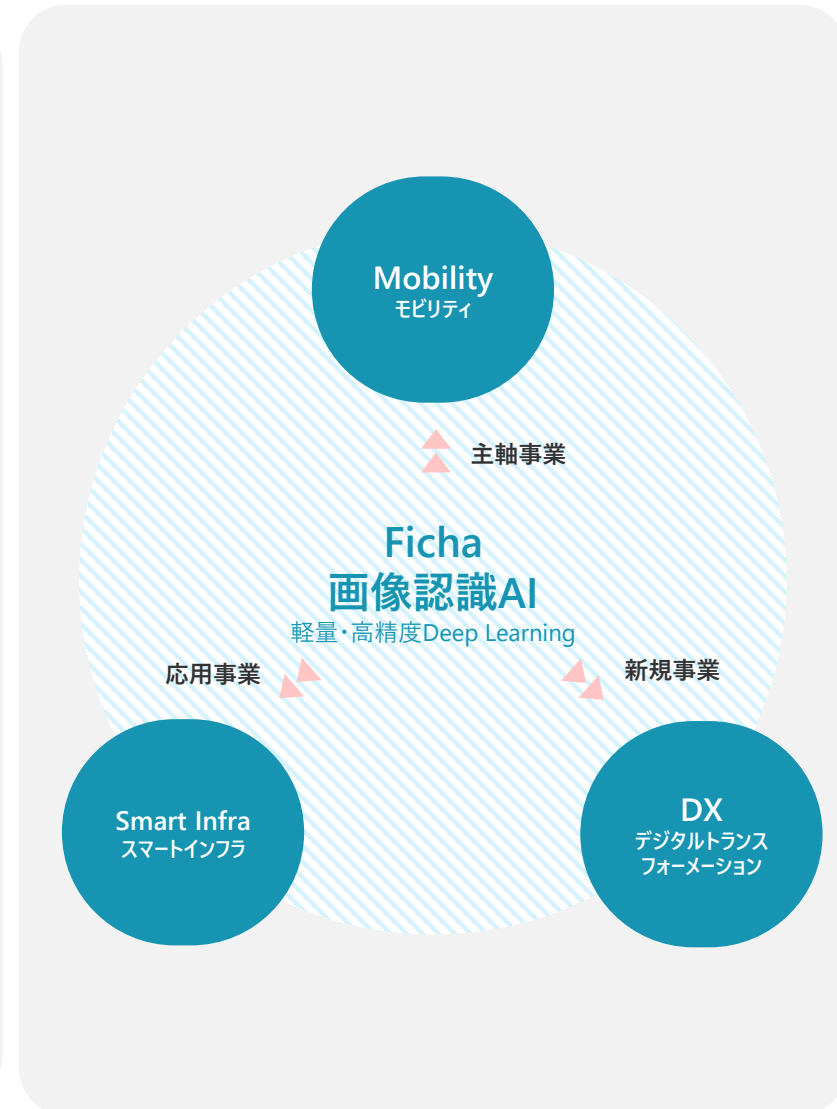


DX事業（新規事業）

多様な企業でのDX推進の動きが加速化。
独自の画像認識ノウハウを生かし、AI-OCR
エンジンの提供を開始。

主製品：
AI-OCR、Form Analyzer

納品期間	令和3年 12月 1日	納品場所	〒170-8019 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイ60 19F		
商品コード	商品名	単位	数量	単価	金額(税込)
58P12	ホワイトボード		20	¥1,000	¥2,200
4678Q	メモカ		50	¥200	¥1,000
6W54H	A型バリケード		11	¥3,250	¥3,575
合計金額					¥6,775



ADAS&DMS ラインナップが充実 量産案件が積み重なり当事業は順調に成長

Point 1

「軽量」かつ「高精度」

- KITTI* ベンチマークテスト歩行者検出第1位
- 汎用SOCで動作可能な軽量ディープラーニング

Point 2

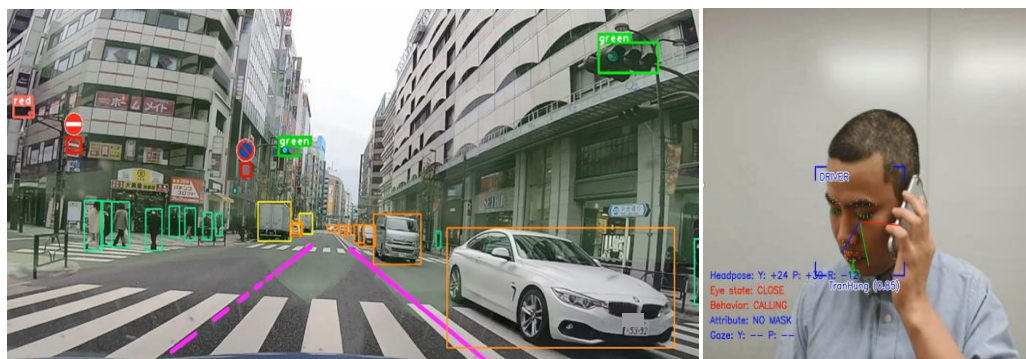
豊富なラインナップ

- 【ADAS】フロント、サラウンドカメラ向け先進運転支援
- 【DMS】居眠り、脇見、危険運転等の検知
- プライバシーマスキング、看板OCR

Point 3

多数の量産実績

- 累計ライセンス台数180万台を突破
- 国内Tier1向け車載カメラ用IP量産開始



主な市場ニーズ

- ① 自動運転
- ② 運転支援
- ③ 運転手監視
- ④ ドラレコデータ活用

製品ラインナップ一例

種類	検知対象	機能
ADAS	車両検知	前方車間距離
		衝突警報
		低速時追突警報
	車線検知	車線逸脱警告
	横断歩道検知	一旦停止無視
	歩行者検知	信号無視検知
DMS	信号検知	速度超過警告
	標識	一時停止不停止検知
	居眠り	居眠り運転検知
	脇見	脇見運転検知
	危険動作検知	携帯電話操作/通話検知
その他	顔認証	喫煙検知
		運転手の顔認証
	プライバシーマスキング	看板OCR

* 世界最大規模の車載用ベンチマークテスト「The KITTI Vision Benchmark Suite」2020年4月時点

交通監視やインフラ制御に画像認識技術のニーズ大 スマートインフラの構築に向けた案件が複数進行中

Point 1

モビリティ技術の応用

- モビリティ事業で培った豊富な開発実績や技術・ノウハウをインフラ向けへ応用
- 【ADAS技術】交通監視、インフラ制御、人流解析 etc.
- 【DMS技術】個人認証、デジタルサイネージ etc.

Point 2

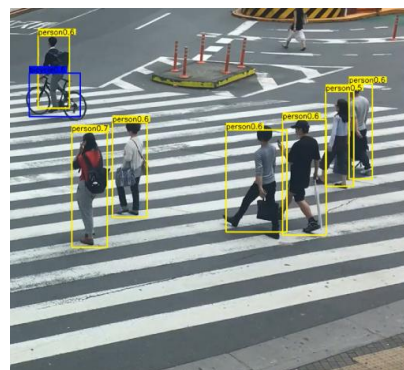
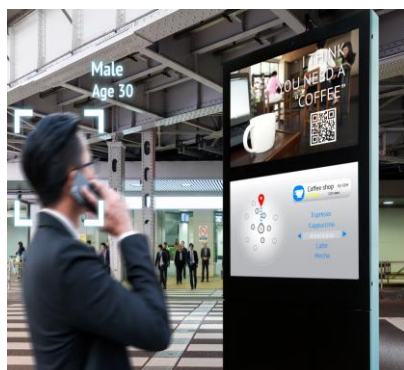
人流解析

- 様々な角度で設置されたカメラで撮影した映像から人物を検出及び追跡
- 人数カウントと人物の移動軌跡、年齢・性別などの情報を可視化
- 利用用途に応じカスタマイズ可能

Point 3

エッジ処理も可能

- ビッグデータ解析にあたり取得・保管する情報への配慮が必要
- 解析後の映像データを保存せず、個人情報漏洩リスクを低減
- 顔やナンバープレートに自動でモザイク処理する自動マスキング技術を保持



主な市場ニーズ

- ①交通監視
- ②インフラ制御
- ③マーケティングリサーチ
- ④個人情報保護

当社独自のAI技術 ⇒ 高精度なAI文字認識エンジンを開発 事業多角化の柱としてDX市場へ参入、事業拡大を狙う

Point 1 活字/手書き文字を高精度で認識

- 文字領域を高精度に自動検知
- 最先端の文字認識アルゴリズムを活用
- 大規模な学習データセットで学習

Point 2 フォーム自動解析

- 帳票画像から項目名と項目値のペアを自動的に抽出
- レシート・請求書等の幅広い帳票に対応可能
- 特定書類向け、サービス構築可能

Point 3 ライブラリ提供可能

- 自社クラウド/サーバ内でライブラリ利用可能
- クラウドが使用できないケースにも対応可能

高精度の文字検知

- 当社独自の画像認識アルゴリズムにより、高精度な文字検知と処理の高速・軽量化を実現

主な市場ニーズ

- ① 手書き文字、帳票対応
- ② RPA
- ③ 各種アーカイブ

販売チャネル

- 当社は、「AI-OCR関連サービス」を提供するITサービスベンダーに技術提供し、使用量に応じて、ライセンス料を受領

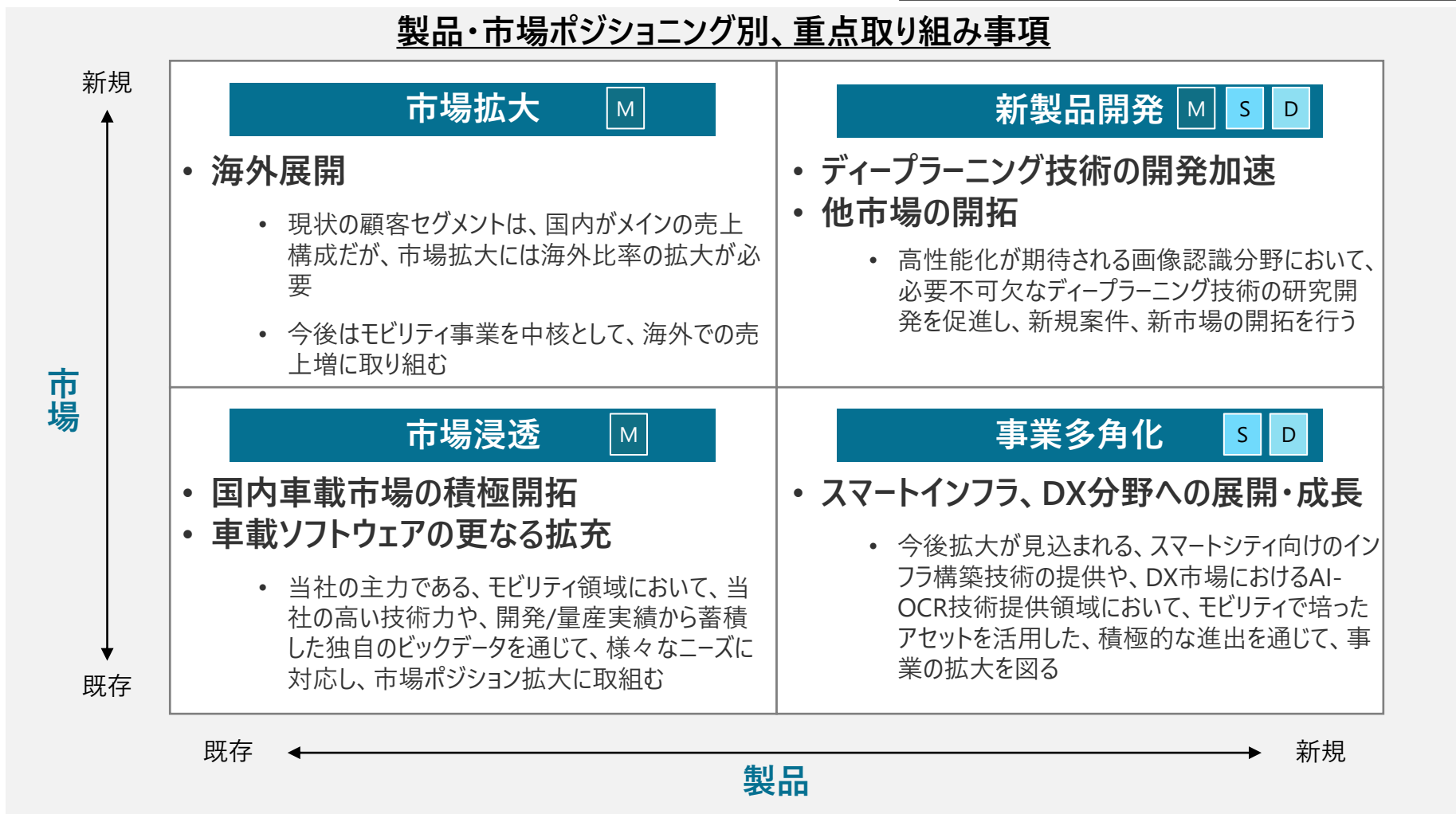
今後も注目が高まる画像認識ソフトウェア市場において、当社の技術を展開することで、業績を拡大し、高い成長性を継続

モビリティ事業
M

スマートインフラ事業
S

DX事業
D

製品・市場ポジショニング別、重点取り組み事項



1. 業績ハイライト
2. 当第2四半期決算概要
3. 事業の概要及び成長戦略

Appendix

- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

(単位：百万円)

	2022年6月期				2023年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	52	132	104	92	77	84		
うち、受託開発収入	20	68	58	50	42	42		
うち、ライセンス収入	31	64	46	42	34	41		
※売上原価	17	36	25	31	26	26		
売上総利益 (粗利率)	35 67.0%	96 72.7%	79 76.0%	61 66.6%	50 65.4%	57 68.2%		
※販管費	63	62	55	66	63	65		
うち、研究開発費	23	20	16	23	23	19		
営業利益 (営業利益率)	△28 △53.3%	34 25.9%	23 22.9%	△4 △4.8%	△12 △16.7%	△8 △9.7%		

※原価＋販管費合計	80	98	80	97	90	92		
うち、人件費	56	56	55	57	61	62		
うち、経費	29	31	28	36	31	35		
うち、仕掛品振替	△4	10	△3	3	△1	△5		

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、さまざまなリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、本資料公表日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではございません。

IRに関するお問い合わせ先

フィーチャ株式会社 管理部

E-Mail : management@ficha.jp